

令和3年度 第1回 滋賀県渋滞対策協議会

TDM施策の推進

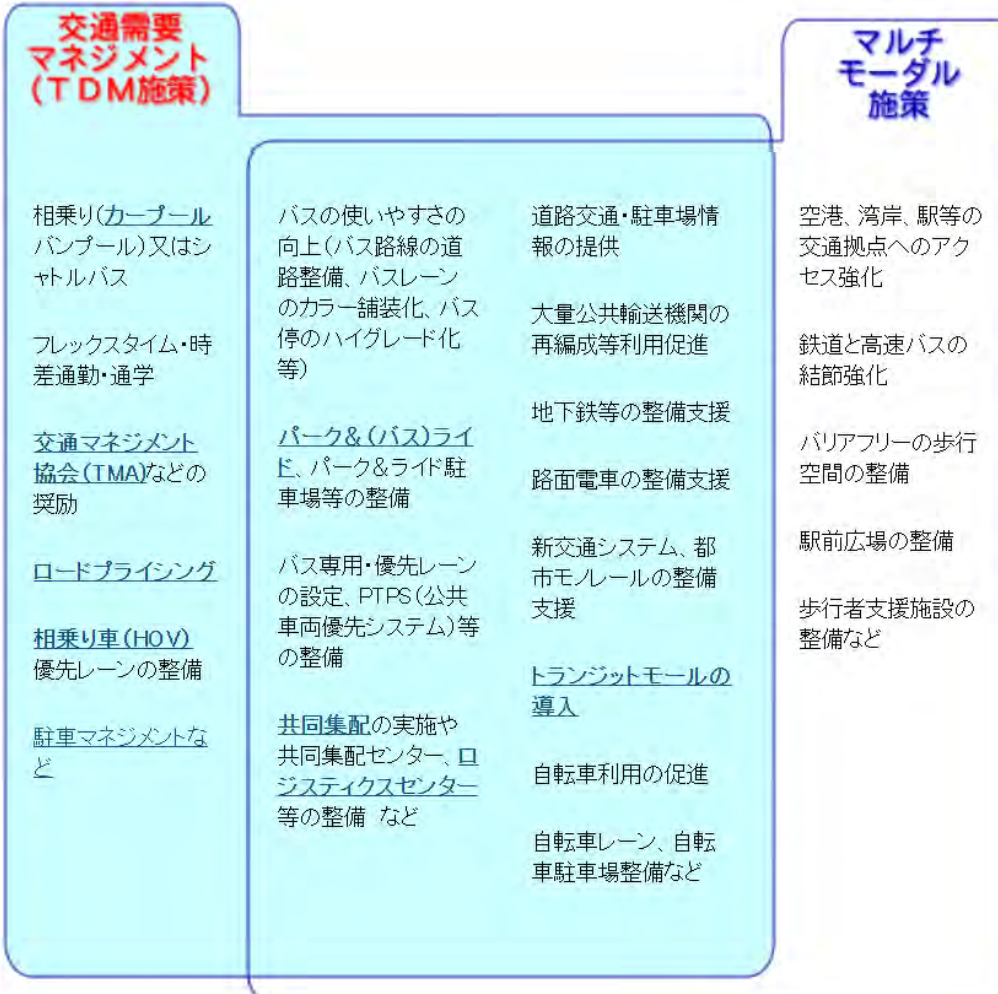
令和3年8月3日(火)

1. TDM施策推進の背景

(1) TDM施策の概要

○交通需要マネジメント(TDM:Transportation Demand Management)とは、道路利用者に時間、経路、交通手段や自動車の利用法の変更を促し、交通混雑の緩和を図る方法である。

○複数の交通機関との連携によるマルチモーダル施策とあわせて複合的に実施することにより、都市の交通を円滑にする。



※出典: 近畿地方整備局HPより抜粋<<https://www.kkr.mlit.go.jp/road/tdm/02.html>>

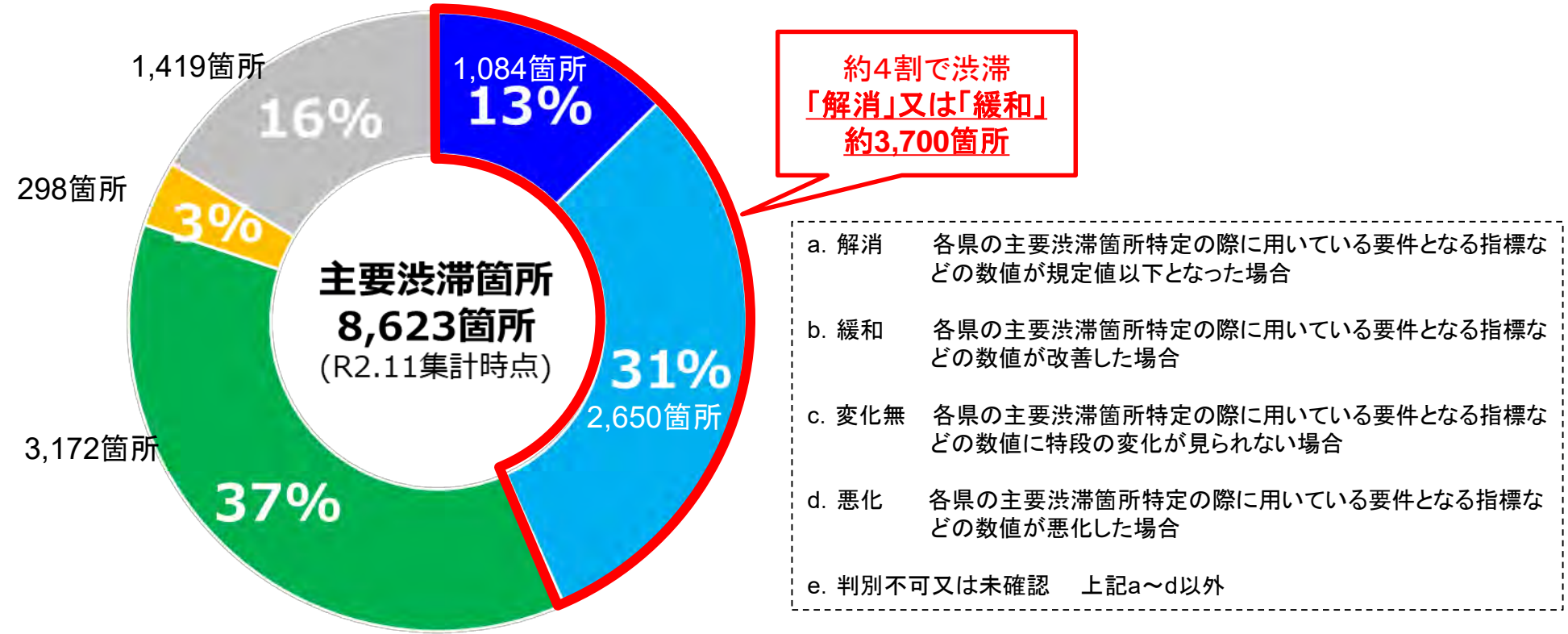
1. TDM施策推進の背景

(2) コロナ禍(緊急事態宣言期間中)における主要渋滞箇所の状況【全国】

○主要渋滞箇所の約4割が、緊急事態宣言における外出自粛要請により、渋滞が「解消」又は「緩和」している。
○今後、交通需要マネジメント(TDM)により、全国の主要渋滞箇所100箇所を解消を目指している。

■緊急事態宣言期間中の主要渋滞箇所の交通状況【全国】

■ a. 解消 ■ b. 緩和 ■ c. 変化無 ■ d. 悪化 ■ e. 判別不可又は未確認



今後、交通需要マネジメント(TDM)により主要渋滞箇所100箇所の解消を目指す
※令和3年度 道路関係予算概算要求概要より

1. TDM施策推進の背景

(3) コロナ禍(緊急事態宣言期間中)における主要渋滞箇所の状況【滋賀県】

○滋賀県内では、緊急事態宣言中における交通量の減少等が影響し、主要渋滞箇所71箇所(解除箇所除く)の内、半数以上の箇所で渋滞緩和(旅行速度の向上)を確認。
 ○渋滞緩和が見られた箇所の内、大津市の仰木口交差点では、2020年、2021年の緊急事態宣言中の交通量が減少している中でも旅行速度が大幅に向上し、20km/h以上となった。

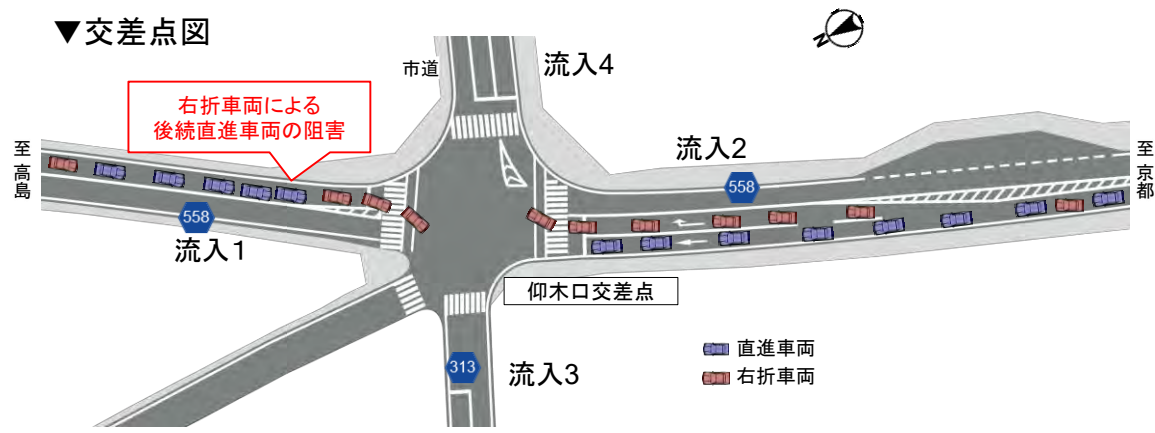
■緊急事態宣言期間中の主要渋滞箇所の交通状況【滋賀県】

▼位置図

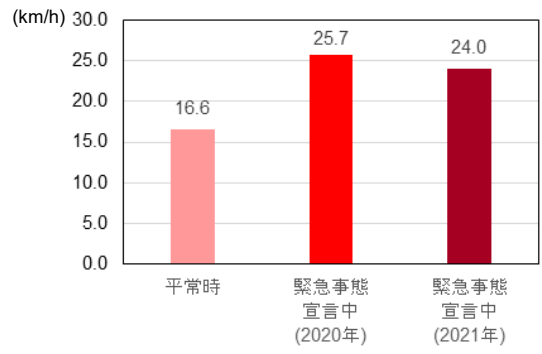


出典: 国土地理院

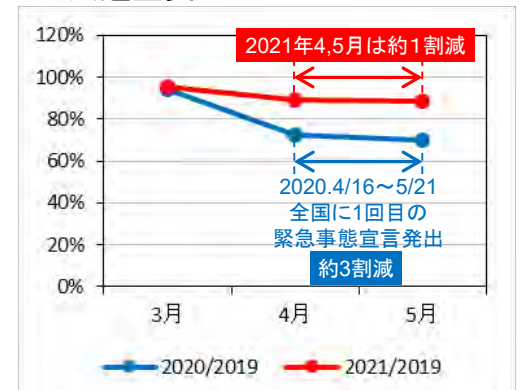
▼交差点図



▼旅行速度変化



▼交通量変化



《主要渋滞箇所の選定理由》

滋賀の主要渋滞箇所に関するパブリックコメント(H24実施)

(出典): ETC2.0プローブデータ
 各期間の流入方向1~4の最低速度を使用
 期間(休日) 平常時: 2020年3月14, 15日
 緊急事態宣言(2020年): 2020年4月11, 12日
 緊急事態宣言(2021年): 2021年5月15, 16日

(出典): 滋賀国道事務所管内トラフィックカウンターデータ
 期間(休日) 2019年~2021年の3,4,5月

2. 滋賀県内におけるTDM施策の取組み

(1) 彦根市役所【パーク・アンド・バスライド】

彦根市では、彦根ICから彦根城までの慢性的な交通渋滞の緩和や観光客の周遊等を目的に、自家用車から専用バスに乗り換えて目的地まで向かう「パーク・アンド・バスライド社会実験」を2017年秋より実施。

※パーク・アンド・バスライドとは、マイカーを専用駐車場に停め、専用バスに乗り換えて目的地まで向かうこと

実施によるメリット

●利用者にとって…

混雑する可能性が高い道路はバスに乗り、彦根城など目的地側での駐車場探しや、入庫待ちの心配等を解消することができる

●地域にとって…

これらの“うろつき交通”等が減り、自動車交通の流れがよりスムーズになることが期待され、観光周遊の活性化を期待することができる

社会実験実施日

第1回:2017年10月14日(土)~2017年11月 5日(日)までの土・日・祝のうち7日間

第2回:2018年10月13日(土)~2018年11月 4日(日)までの土・日・祝のうち8日間

第3回:2019年 4月 4日(木)~2019年 4月21日(日)までの土・日・祝のうち8日間

第4回:2019年10月19日(土)~2019年11月10日(日)までの土・日・祝のうち9日間



※出典:彦根市HPより抜粋<https://www.city.hikone.lg.jp/kakuka/rekishi_machizukuri/7_1/toshikeikakukakari/7/13016.html>

自動車利用の抑制により県道25号及び県道518号の慢性的な渋滞緩和を図るとともに、国道8号外町交差点における渋滞の緩和を期待

2. 滋賀県内におけるTDM施策の取組み

(2) 大津市役所「ことことなび」を利用した社会実験

■「ことことなび」を利用した社会実験

2020年10月16日～12月6日に、スマートフォンアプリ「ことことなび」を利用した実証実験を実施。

「ことことなび」は、**観光客や地域住民をターゲット**に、大津市と京阪ホールディングス、京阪バス、IT(情報技術)システム開発大手の日本ユニシスが共同で開発したMaaSアプリ。ルート検索、バスや鉄道などの1日乗車券や観光施設の入場券がセットになった企画乗車券が購入ができるほか、周辺の観光スポット案内や地元店舗で使えるクーポンを配信し、地域の活性化につなげる。使いやすさやお得感で**公共交通の活用を促す狙い**。



※画像出展：京阪HPより抜粋<<https://www.okeihan.net/recommend/cotocotonavi/ticket/>>

■「ことことなびサイクル」を利用した実証実験

2021年2月1日～3月31日スマートフォンアプリ「ことことなびサイクル」を利用した乗り捨て型レンタサイクル実証実験を実施。

「ことことなびサイクル」は、「ことことなび」をベースに、シェアサイクル向けに新たに開発したスマートフォン用のMaaSアプリ。通常1,300円の「kotobike」一日乗り放題券が、500円で購入できるほか、**大津市内の飲食店や観光施設で利用できるクーポンの発行、観光案内**などの機能を持つ。市内15箇所¹に設置された拠点で自転車の貸出と返却が可能。**自転車移動を促す狙いで、大津市民には通勤や通学など生活の足として利用してもらうことにより、公共交通の補完やラストワンマイルの解消を見込んでいる。**

※「MaaS(マース)」とは、Mobility as a Serviceの略で、地域住民や旅行者一人一人のトリップ単位での移動ニーズに対応して、鉄道やバス等の複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせて検索・予約・決済等を一括で行うサービス。



自動車から自転車や公共交通への転換を促すことで、国道1号の打出浜交差点など、周辺の主要渋滞箇所における慢性的な渋滞の緩和を期待



※出典：大津市HPより抜粋<<https://www.city.otsu.lg.jp/kanko/oshirase/38594.html>>

2. 滋賀県内におけるTDM施策の取組み

(3) 草津市役所「南草津駅周辺」交通対策社会実験

草津市では令和3年6月14日から7月9日まで、JR南草津駅東口のロータリー前において、公共交通の利用環境の改善を図るため「一部の路線バスを西口発車」とする社会実験を実施。



公共交通の利用環境を改善することで、国道1号周辺の主要渋滞箇所における慢性的な渋滞の緩和を期待

JR南草津駅をご利用の皆様へ

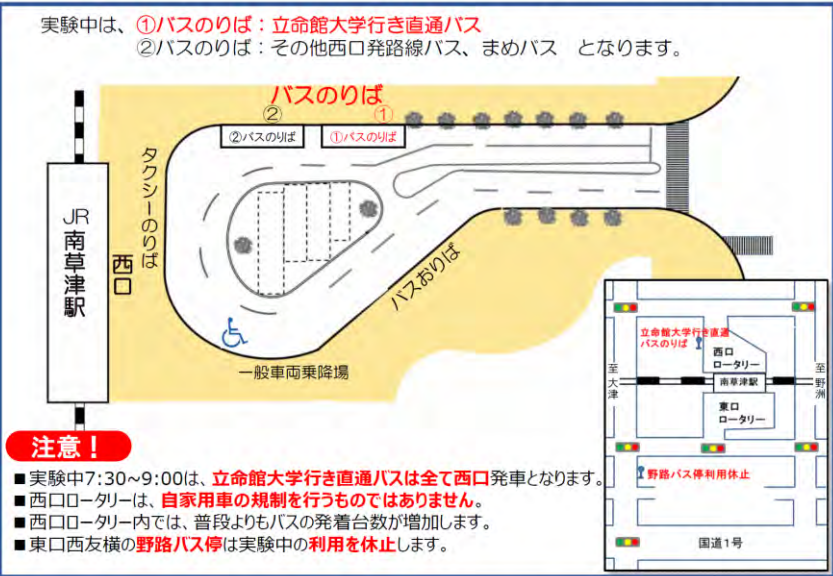
JR南草津駅東口発車の路線バスにおいて、一部の路線バスを西口発車とします。

なぜ? JR南草津駅東口ロータリーは交通量が多いため、交通渋滞が発生しています。このことから、駅前ロータリーの混雑緩和や公共交通の定時性確保に向けた方策を検討することを目的とし、混雑していた公共交通を分散させるために、一部の路線バスを西口からの発車に変更する社会実験を実施します。ご迷惑をお掛けいたしますが、ご理解いただけますようお願いいたします。

いつ 令和3年6月14日(月)から7月9日(金)まで
午前7時30分から午前9時00分まで (※平日のみ)

どこで JR南草津駅西口ロータリー内バスのりば

対象 対象時間内のJR南草津駅発の立命館大学行き直通バス



※出典: 草津市HPより抜粋
<<https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kendoseibi/koutsu/314950.html>>

3. TDM施策の推進方針

- 滋賀県と連携して、彦根市・大津市・草津市を対象に、今後の取組みの予定や主要渋滞箇所との関連性を整理し、交通ビッグデータを活用した現状把握・効果検証など「技術支援」によって施策の推進を図る。
- 今後、追加項目の検討や関係機関との調整の場として、WGの立ち上げ等も検討する。

令和3年					令和4年				
8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
	実施主体との意見交換 (重点検討箇所の選定)		重点検討箇所を対象とした交通ビッグデータ分析(速度・利用経路分析など)や、追加項目の検討を行い、更なる施策の推進を図る						



実施主体	施策内容	確認・調整事項(案)
彦根市役所	パーク・アンド・バスライド 社会実験	<ul style="list-style-type: none"> • 今後の実施予定の確認 (平成29年(2017)～令和元年(2019)に社会実験を実施) • 土日祝の観光交通をターゲット交通の確認と他の時間帯での適用の調整 (平日ピーク時間帯の適用なども想定できるか等)
大津市役所	「ことことなび」を利用した 社会実験	<ul style="list-style-type: none"> • 今後の実施予定の確認(令和2年度(2020.10～2021.3)に社会実験を実施) • 「ことことなびサイクル」の利用実態調査やアンケート調査などの効果についての確認と今後の取組み内容の調整 • (「ことことなび」は利用者数など公表)
草津市役所	「南草津駅周辺」交通対策 社会実験	<ul style="list-style-type: none"> • 社会実験や「南草津駅周辺交通対策検討会」の今後の実施予定の確認。 (令和3年3/1に第5回検討会を開催) • 一部の路線バスを西口発車とする社会実験(令和3年6/14～7/9)に関して 効果検証と今後の取組み内容の調整